

平成30年1月の予定

- 7日(日) 冬季休業日終了
- 8日(月・祝) 成人の日
- 9日(火) 始業式 地区児童会(11:00頃下校)
下校指導あり
- 10日(水) 世界たんけん!
一斉下校11:40
- 11日(木) 一斉下校11:40
- 12日(金) 給食開始 身体測定
ALT(5・6年)
小中連携授業2限目(数学・6年)
- 13日(土) 光都火祭り13:00(幼稚園建設予定地)
PTA役員候補者選考会(18:30)
- 15日(月) 委員会活動 外そうじ 移動図書館
安全点検
- 16日(火) 縦割り班遊び わくわくお話宅急便
- 17日(水) 代表委員会 避難訓練(地震想定)
- 18日(木) SAS「遺伝子」2限3限目(6年)
- 19日(金) 新宮町内特別支援学級交流会③
ALT(5・6年)
- 22日(月) 児童朝会 クラブ活動⑧
☆スクールカウンセラー13:30~16:30
- 23日(火) ※研修会のため一斉下校14:45
- 24日(水) 中学校入学説明会
※6年下校は、保護者と下校
1~5年14:45下校
- 26日(金) ALT(5・6年)
- 30日(火) 高原東小文化祭
- 31日(水) 昔の道具・そうめんづくり体験(3年)
PTA役員会⑤(19:00)



2月の予定

- 2日(金) ALT(5・6年)
- 4日(日) 人権を考える市民の集い(新宮公民館)
委員会活動
- 5日(月) ☆スクールカウンセラー10:00~12:00
- 6日(火) ※5時間授業 一斉下校14:45
- 7日(水) 世界たんけん!縦割り班遊び
代表委員会
新1年生入学説明会10:50開始
- 8日(木) ALT(1・2・5・6年)
- 9日(金) PTA委員会⑤(9:30)
- 10日(土) 建国記念の日
- 11日(日) 振替休日
- 12日(月) わくわくお話宅急便 外そうじ
国際理解教育講演会(タイ少数民族)
11:00~12:00(5・6年と保護者)
※5時間授業 一斉下校14:45
- 13日(火) モップ交換
- 14日(水) 安全点検 学校評議員会(15:00)
- 15日(木) ALT(5・6年)
- 16日(金) 児童朝会 移動図書館
クラブ活動(3年見学)
- 19日(月) ミニ地区児童会
オープンスクール③ 学級懇談会
教育講演会4限(PTAと5・6年)
- 21日(水) ALT(5・6年)
- 22日(木) 委員会活動(3月)
児童会役員選挙(3~6年)
- 23日(金) PTA役員会⑥(19:00)
- 26日(月) ALT(5・6年)
- 28日(水) 委員会活動(3月)
児童会役員選挙(3~6年)
PTA役員会⑥(19:00)



☆平成30年度31年度と新教育課程の移行期間に入りますが、本校は、平成30年度より外国語活動(3・4年生)年間35時間と外国語(5・6年生)70時間を完全実施します。それにもない、以下のように来年度の時間割を変更する予定です。★詳細の時間割は4月に配布します。

【月曜日】	1・2年生(5時間授業)	3~6年生(6時間授業)
【火曜日】	1年生のみ(5時間授業)	2~6年生(6時間授業)
【水曜日】	月1回委員会活動の週のみ	4~6年生(6時間授業)
【木曜日】	1~3年生(5時間授業)	4~6年生(6時間授業)
【金曜日】	1・2年生(5時間授業)	3~6年生(6時間授業)

原則、5時間授業時は14:45下校、6時間授業時は15:35下校です。

※クラブ活動は、年間6回で、木曜日の6時間目に行います。



☆学校での表彰伝達について

81名の児童は様々な可能性をもって、その子らしく日々成長をしています。いろいろな大会や習い事で表彰を受けることが多いと思います。児童朝会での表彰伝達は、教育委員会が開催しているものと、学校から応募したものとしています。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

◎子育ては「心に汗して」(世界乳幼児精神保健学会副会長 渡辺久子さん)

子育ては、汗水たらして土を耕す 農家の人の営みに似ていて、手を汚すことなく土を耕すことができぬように、心に汗水することなく 子どもの心を耕すことはできない。

◎子育て考

心が寛大な人の中で育った子は がまん強くなり、はげましを受けて育った子は 自信をもつ。ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知り 公明正大な中で育った子は 正義感をもつ。思いやりのある中で育った子は 信仰心もち、人に認められて育った子は 自分自身を大切にす。仲間の愛の中で育った子は、世界に愛をみつけます。

☆宇宙飛行士の向井千秋さんの言葉「夢の実現のためにこそ 教育は必要」

連歌で味わう無重力の世界 向井さんは「天女になったような感じです」と宇宙の感想を語った。

○「宙返り 何度もできる 無重力」。二度の宇宙飛行を体験し、無重力のことをうたった句です。この句に対して句を募集したところ、印象的だったのが、介護する方や病氣の方からの句です。「乗せてあげたい 寝たきりの父」、「任せてみたい 動かぬ身体(からだ)」。こうしたことは重力のない世界でしかできないことです。自分は医者なのに、何でこういうことに気付かなかったのだろうと考えたら、涙がでてきました。



次の世代に紡いでいく仕事

○いまは大学にも関わっていますので、自分が思う教育についても少しお話しさせていただきます。私は、教育というのは、単に教えるというだけでなく、自分が面白いと思ったことを次の世代に紡いでいく仕事だと思っています。若い人には、夢がありますよね。それを実現させるために、教育は欠かせないものです。山に登るときに、山に登るときを考えると、その山が富士山なのかエベレストなのかで、荷物の量も踏破する日程も変わってきます。そのための計画や準備、それらを学ぶことこそが教育だと思います。そういうことを学んで、初めてリュックサックの中に何を入れたらよいのか、必要なものがわかってくるのです。そのことを後輩たちに紡いでいく、それが教育の役割ではないでしょうか。(平成29年秋、向井千秋さんへのインタビュー記事 第2弾)